

# とよなか市民環境会議



Toyonaka Citizens Environmental Conference

1998 (平成10) 年 春号 (通巻第4号)

特集 地球温暖化を防ぐ

## 地球温暖化防止京都会議で何が決まったか

昨年(1997)の12月1日から11日まで、京都市北区の国際会館で、「地球温暖化防止京都会議(通称、COP3; コップ・スリー)」が開催されました。

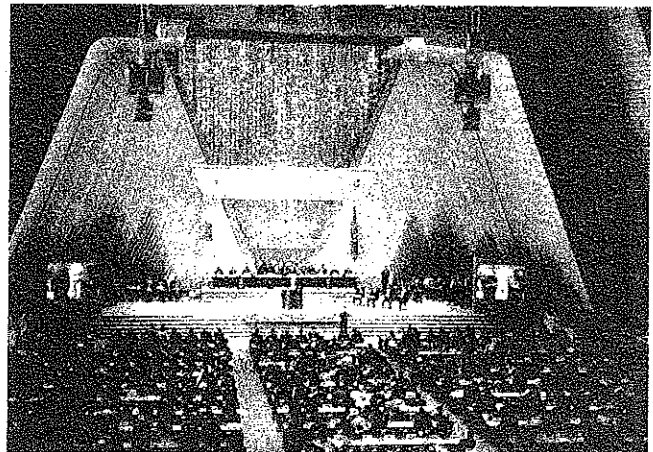
この会議のメインテーマは、世界全体が協調して地球の温暖化をくい止めるための目標や政策・措置を決めることです。

およそ3年前(1995年)にドイツのボンで開催されたCOP1(気候変動枠組み条約第1回締約国会議)では、現行の気候変動枠組み条約(「温暖化防止条約」)が2000年以降の温室効果ガス排出量の目標値や政策・措置に関する規定が設けられていなかったため、2000年以降の取り組みについては、第3回締約国会議(COP3)を目指して議定書又は他の法的文書を探択することで合意されました。

その検討課題や手順を定めた約束を「ベルリンマンデート」といいますが、マンデートでは条約上の先進国の約束は不十分であるとして、先進国の義務を強化するため、次の2点を求めています。

① モントリオール議定書によって制御されないすべての温室効果ガスの発生源からの人為的な排出及び吸収源による除去に関し、特定のタイムフレーム内、たとえば2005年、2010年、2020年における数量化された抑制及び削減目標を設定すること。

② 政策と措置を定めること



▲地球温暖化防止京都会議(1997年12月8日撮影)

それゆえ、第3回締約国会議、つまり京都会議は、2000年以降の取り組みを決めるうえで、大変重要な会議でした。

早くから海外の環境NGO(非政府組織)は、温暖化対策の緊急性や将来に対する影響を訴えてきましたし、わが国でも多くのNGOが結集した「気候フォーラム」をご存知のかたも多いと思います。

また12月直前には、新聞やテレビでも、連日、温暖化問題に関する報道がなされていました。

このように、京都会議は世界中の人々が注目するところとなり、世界161カ国の政府関係者、科学者、NGO、報道関係者などあわせて約1万人が参加しました。

それでは、「京都会議」でいったいどのようなことが話しあわれたのでしょうか? 京都会議での合意をふまえて私たちは何をすべきなのでしょうか?

以下では京都会議の成果と今後について少し考えてみたいと思います。

### 本号のハイライト

- P.1 地球温暖化防止京都会議で何がきまったか
- P.4 豊中アジェンダ21の策定にむけて
- P.6 環境展'97&身近な環境調べ発表・交流会
- P.7 豊中アジェンダ21・シンポジウム

# 京都会議で合意されたこと

## 1. 温室効果ガスの削減目標は？

先進国（旧ソ連・東欧を含む）38カ国全体で二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの「2008年から2012年」の平均の排出量を1990年レベルより少なくとも5%削減することを目標として、同期間の削減目標が各国ごとに設定されました。ただし、日本は6%、米国は7%、EUは8%の削減をおこなうことになっています。

各国は単独または共同してこの目標を超えないようにします。これらの削減目標には、吸収源の増減、排出権取引等による排出権の移転がカウントされます。

## 2. 対象となる温室効果ガスとは？

次の6種類のガスが削減対象となります。

### 図. 対象となる温室効果ガス

温室効果ガス	用途・排出形態
二酸化炭素	化石燃料の燃焼などにもない、排出（我が国の温室効果ガスのほとんどは二酸化炭素）
メタン	化学燃料の不完全燃焼、稲作や家畜の反すうなどから排出
亜酸化窒素	化石燃料の燃焼などにもない排出
HFC	エアコン、冷蔵庫などの冷媒、断熱材の発砲剤、エアゾールの噴射剤などに使用
PFC	半導体製造などに使用
SF <sub>6</sub>	電力用ガス絶縁開閉装置の絶縁ガスなどに使用

（注）HFC、PFC、SF<sub>6</sub>の基準年は1995年を選択することも可能

## 3. 主なポイントは何？

### ①共同実施

先進国間で温室効果ガス削減のプロジェクトを共同でおこなった場合、その削減量を国どうしでやりとりできます。

### ②クリーン開発メカニズム

温室効果ガス削減のプロジェクトをおこなった場合、一定の認証手続をへて、削減量を他国に譲渡できるしくみ。詳細については今後検討されることになっています。

### ③排出権取引

先進国間で温室効果ガスの削減量を「排出権」として取引できる仕組みを導入します。

### ④吸収源の扱い

植林などの二酸化炭素の吸収源の増減も算入します。

## 4. 今後の課題

先進国間で1990年を基準として、2008年～2012年の5年間平均で5%削減に合意できたことは、一つの成果として評価できると思われますが、京都会議は、温室効果ガスの排出抑制にむけての第一歩にすぎません。

たしかに京都会議は、温暖化問題を考えるうえで非常に大きな意味をもっていましたし、これまで温暖化問題を全く知らなかった多くの人々の関心を引き起こしたことでしょう。

今後、温暖化対策を実効性のあるものとしていくためには、合意内容である「共同実施」、「クリーン開発メカニズム」、「排出権取引」、「吸収源の扱い」などが、排出削減の抜け穴にならないように注意しなければならないでしょう。

京都会議では、世界の温暖化対策の大枠が決められたにすぎず、温暖化問題自体が21世紀の課題である以上、長期的な視点から今後も一層の対策を講じることががぞまれます。

### 参考文献

- 1) 天野明弘・加藤久和・森嶋昭夫・横田洋三「地球温暖化防止京都会議の意義と今後の課題（座談会）」、『ジュリスト』、有斐閣、No.1130、1998年3月
- 2) 通産省、「気候変動枠組条約第3回締約国会議の結果」、1997年12月
- 3) 環境庁地球環境部環境保全対策課「地球温暖化防止京都会議の成果と今後の課題」、『かんきょう』、1998年2月



▲ 氷のペンギンで環境NGOが温暖化防止をアピール（京都会議場となった国際会館前にて）

## 千里の道も一歩から…

地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量について、大阪府豊中市は四日、市民アンケートをもとに二〇一〇年には三割近く増えるが、市民の省エネ努力があれば約一割削減できるとする試算を発表した。自治体が市民の生活実態や意識を調査したうえでCO<sub>2</sub>の排出量を独自に予測するのは、全国的にも先進的な取り組みという。

アンケートは今年七月、市民七千人に聞いた。家庭で使うエアコンをはじめエネルギー使用機器の台数と使用時間、通勤・通学の交通手段と所要時間など十二項目の質問に、四千七百二十

2010年のCO<sub>2</sub>は3割増

## でも市民の力で 1割削減が可能

### 豊中市が独自試算

十人が回答した。

これらの数字をもとに、市は電力、ガス、灯油の消費量などから、家庭の機器や通勤・通学の移動によるエネルギー消費から生まれる一九九〇年のCO<sub>2</sub>排出量を十一万三千六百トと推計。それが二〇一〇年(推定人口三十七万人)には、電気機器の保有台数や自動車の利用状況が現状のままだと約三割増の十四万五千九百トになるという。一方、国の省エネ政策に準じてエネルギー使用機器の効率や自動車の燃費が向上し、身近な省エネ努力が実現すれば、二〇一〇年には九〇年比で一割減らせるという。

1997年(平成9年)12月5日付け朝日新聞より

### 豊中市中学生のメッセージを

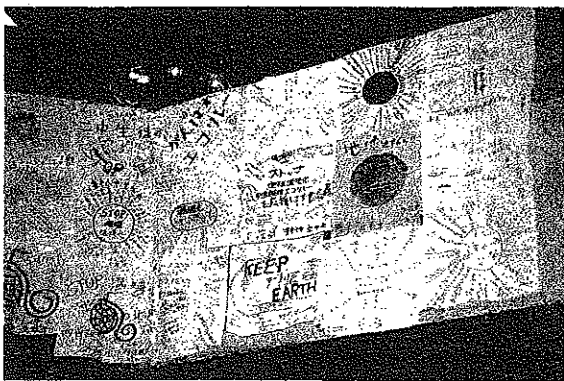
#### 京都会議場へ届けました!

京都会議の成功を祈願して、豊中市内の中学生が各校1枚ずつ計18枚の布に温暖化を防ぐための誓いや具体的な行動を寄せ書きしました。

このメッセージ布は、列島縦横エコリレーで豊中市役所前に掲示され、豊中アジェンダ21シンポジウム会場でも掲示されたものです。

シンポジウムの第1部では、環境庁地球環境部環境保全対策課の大庭一夫氏から京都会議の動向などについてお話いただいた後、豊中市内の中学生の代表者3人からメッセージの朗読とメッセージ布のカラーコピー版の贈呈がおこなわれました。

さらに12月8日には、京都会議が開催されている京都国際会館へ行き、メッセージ布の実物を会場内に展示してきました(写真)。



▲プレスルーム2階の壁に展示された



### 私たちにできることは何か

今後私たち市民は、この京都会議の成果を真摯に受けとめ、いま何を実践すべきかについて考えなくてはなりません。

京都会議で合意された目標を達成するためには、より一層地球の温暖化をおさえ、できるだけ化石燃料(石油・石炭・天然ガスなど)を使わない社会経済システムに転換する必要があります。

そのためには具体的に何ができるか、何をすべきかについて、ともに考え実践しようというのが、『豊中アジェンダ21』の基本的スタンスです。以下に、今すぐできる温暖化対策の例をすこしあげてみました。

あなたもどれかにチャレンジしてみませんか?

- テレビを見ないときは主電源をOFFにする

(1日20時間) → 1年間で2.2kg削減

- 自動車の利用を減らす

(10分間で400ccのガソリンの消費)

→ 60分で1.5kg削減

- 食品トレーのリサイクル(1枚平均7gのトレーを週に10枚リサイクルに出す)

→ 1年間で1.0kg削減

- 買い物の工夫によりごみの量を減らす

(1週間のごみの量を5kg減らす)

→ 1年間で62.4kg削減

- 冷蔵庫の開閉を冷凍室15回、冷蔵室50回から冷凍室7回、冷蔵室25回にする。

→ 1年間で4.9kg削減

(環境庁エコライフガイドより)

# 豊中アジェンダ 21 の策定にむけて

## 4部会の取り組み

豊中アジェンダ 21 の策定をめざして、昨年9月に発足した4つの作業部会のうごきについてレポートします。

### 1. 自然部会（ピオトープ部会）

昨年9月に、辻本智子さん（環境デザイン研究所長）をアドバイザーとして自然部会が発足しました。第1回部会では五感を使って豊中の街を知ろうということで2～3人ずつ、8チームにわかれ市内8ブロックを観察することに決まりました。

第2回目（10月）の部会で各チームがカメラを手に歩きながら市内ウォッチングし、第3回部会（11月）でその報告会をもちました。これらの成果を12月6・7日開催の環境展に「歩いて、見て、感じた豊中」と題してパネルで発表し、多くの市民から好評を得ることができました。これらを通じてメンバー同志が段々と顔見知りとなり、楽しみながら作業することができました。



▲環境展 97 でのパネル展示

第4回部会（12月）で、豊中アジェンダ 21 策定の行動プログラムへ多数の市民が参加する方法として、(1)身近な自然や生物の生息場所（ピオトープ）づくり、(2)出前観察会開催、(3)環境マップづくり に取り組むことになりました。

第5回部会（1月）では、アドバイザーとして新たに奈良県立商科大教授の榎村久子先生をお迎えしました。第6回部会（2月）では、上記3つに取組むため、それぞれ班に分かれて、具体的な活動について話し合いました。

行政と市民のパートナーシップをもとに、地域ぐるみで生態系に配慮した自然環境の創造、身近な自然を大切にし、自然との交流の場を作ろうとしているのですが39万市民の自然に対する考えは様々でありません。

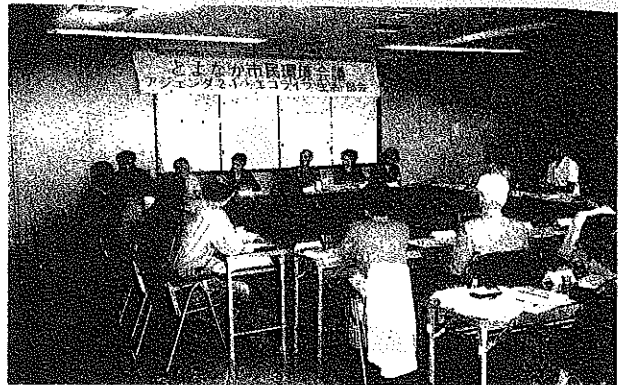
私が作業部会に参加した動機は、豊中の一市民の誇りを持って生きたいと思っていたからです。

豊中市歌にある「緑の都豊中市」はどうなるのかと、いつも心が痛みます。次世代になく活動としてガールスカウトのリーダーをしていますが、刀根山小地区に住む13～14歳スカウトに地域の宝物を聞くと、「マチカネワニ」「古墳」「箕輪池のカモ」等でした。一校区でもこれだけあるのです。全市ではどれだけあるのでしょうか。「広報とよなか」に部会の活動のお知らせが毎月載っています。お1人でも多くの参加をお待ちします。多数の意見を反映した「豊中アジェンダ 21」策定にむけて、一歩ずつ行動しましょう。（自然部会副会長 上田峯子）

### 2. 生活部会（エコライフ部会）

生活（エコライフ）部会は「くらしのあり方を見直す活動」として、2つの大きな柱となる課題で話し合いをすすめています。

アドバイザーの弘本先生（大阪ガス）のご指導で、とうてい自分たちだけの活動では知りえない多方面の事例などを紹介していただきながら、「どうすれば環境にやさしい生活を提案できるか？」ということに取り組んでいます。そのうちの1つは「誰にでもつけられる環境家計簿作り」です。



▲ライフスタイルから環境問題を考える

私たちは地球温暖化の被害者ではなく、本当は加害者であるという認識をもつために、自分の生活からどれだけのCO2を出しているのか？数字でみてみようというものです。

私は以前からリサイクルできるものは拠点にもって行ったり、集団回収にまわしたりして、環境にやさしいといわれていることは何でもやってみようという気持ちでとりくんできたつもりでした。電気・ガス・水道など、月々の明細書でまとめてつけることはできるのはいいとし、生ゴミを出す前に重さをはかったり、又不燃物として出すプラスチックやビンの数を数えるなど「そんなめんどうなことできない！」と、思わずさげんでいました。

でも「そんなあなたにでもつけられる環境家計簿を作りましょう」ということになり、仕方なく10月と11月の2カ月程つけてみることになったのです。そしたらいいことは何でもやっているつもりが、人よりすてているプラスチックが多いことにびっくり、外食はあまりしないし、きっちりお弁当に作っているし！と、いいわけにならない言いわけで自分を納得させる始末。

ある人は通勤に使う車のガソリン消費量の多さに改めてびっくり！など、やはりつけてみないとわからない自分の環境への負荷度が少し見えてきたようでした。まだまだ誰にでもつけてもらえるには改善の余地がある環境家計簿ですが「豊中らしい工夫のあるものを作ろう」と、みんなでがんばっています。

もう1つの課題である「レジ袋の有料化」ですが、昨年10月にあるスーパーの方や近くの生協の方にきていただき、「マイバッグ持参キャンペーン」のことや「有料化にふみ切れない事情」などお話いただき、やはりみんなして協同でとり組まねば進まないということを感じさせられました。

このように自由な奮闘気の中、皆が一言ずつ話せるエコライフ部会に何らかの興味をもって参加して下さるメンバーがふえています。できるだけたくさんの意見や知恵を出し合って、より環境にやさしい生活提案ができるようがんばりたいと思います。

(生活部会副部長 今井文子)

### 3. 産業部会 (エコインダストリー部会)

企業が環境管理をまじめに考え始めています。ISO14001規格が発効されて既に1年以上経過しており、国内外で第三者機関による国際的な環境規格の認証が進んでいます。

こうしたなか豊中市内でも、既にISOを取得したり、取得に向けて準備を進めている企業があらわれています。

そこで産業部会では、アドバイザーの佐川



さんのもと環境管理に関する国内外の対応や事例について学習会を開催したり、ココヨ(株)環境行動委員会の川崎氏を招きグリーン購入についての報告会をもうけました。

またすべての企業に共通のテーマである「エコオフィス」運動についても検討をはじめています。さらにKJ法によるワークショップをおこない、そこで作成した「企業人としての豊中の環境目標案」の普及についても検討しています。

### 4. 交通部会 (エコラフィック部会)

海外や国内の環境配慮型交通システムについて、アドバイザーの新田助教授とともに学習会をおこないました。

つぎに、豊中市内の交通状況をまず目でみて感じてみよう、阪急豊中駅から岡町までいっしょに歩きながら、交通量や騒音の調査をおこないました。

さらに、「アイドリングストップ」に既に取組んでいる阪急バスの担当者からお話を聞いたり、省燃費運転用VTRを見たりして、アイドリング・ストップ運動の啓発方法について検討しています。その他、交通分野のアジェンダについても検討を始めています。



### 5. 今後の展開

平成10年度は豊中アジェンダ21の策定を進めるとともに、各部会では様々な取組みに向けて動きだそうとしています。

交通部会では、「アイドリング・ストップ1万人キャンペーン」、生活部会では「環境家計簿キャンペーン」や「買い物袋持参キャンペーン」、産業部会では「エコオフィス運動」、自然部会では「出前観察会」や「環境マップ」などを予定しています。



## レポート1

# 環境展'97が開催されました!

テーマは、「地球温暖化」



昨年12月6日(土)～7日(日)の2日間、豊中市民会館の大集会室をメイン会場として開催されました。

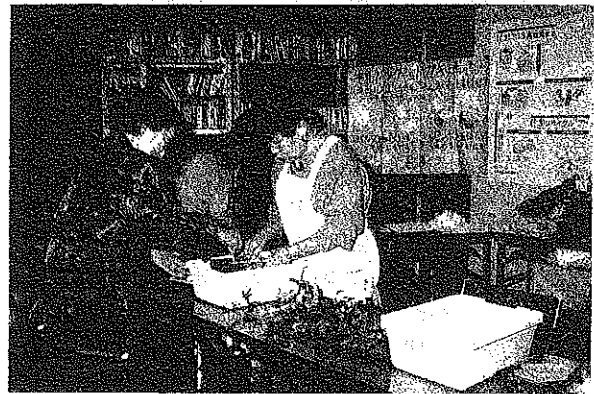
平成8年度から「とよなか市民環境会議」と豊中市が共催していますが、今年度は、市民環境会議のメンバーの中から10の企業・団体の参加を得て、紙すきやアクリルたわしづくりなどの教室を開いたり、パネル展示などで環境にやさしい活動の取り組みをご紹介いただきました。

また、豊中アジェンダ21のピオトップ部会は、会館ロビーで「残したいとよなかの自然」と題し

たパネル展示を展開しました。市内を8ブロックに分け、手分けして市内をくまなく歩いて集めた情報を地図や写真にあらわしたカラフルなもので、おとずれた人々の注目を集めていました。

さらに、豊中市立の18校の中学生たちが地球温暖化防止京都会議会場に展示するために作成したアピール用ペナント(布製)が、飛び入り披露、展示されました。

地球温暖化を今年度のテーマに、その発生の仕組み、影響、対応策などのメッセージ展示、プロの漫画家による地球環境をテーマにした漫画、リサイクル工房展、恒例となった「もったいない市」(ガレージセール)、特設ステージでは環境落語、腹話術、南京たますだれなどの演芸も披露され、期間中は約2,500人が訪れて会場が賑わいました。



## レポート2

# 第7回「身近な環境調べ発表・交流会」

新しい年が明けて早々の1月17日(土)の午後、豊中市立生活情報センター「くらしかん」イベントホールにおいて開かれました。

今年の「身近な環境調べ」の参加校は、小学校3校、中学校1校が発表を行いました。

熊野田小学校の5年4組の児童は、「落ち葉のゆくえ」と題して生態系における物質の循環や環境との関わりについて、緑地小学校の6年生は、「空気の汚れを調べよう」と題して二酸化窒素、酸性雨など大気汚染に関する調査について、庄内小学校の4年2組は、「庄内小校区の環境(ツバメと車)」と題して校区内のツバメの巣のありかと子育ての様子等について、第四中学校自然科学部の生徒諸君は「天竺川の水質調査」と題して、先輩が5年前に行った天竺川の水質調査と今回の調査との比較した成果を、それぞれ持ち時間をいっぱい使って発表してくれました。

引き続き、市民のみなさんの参加で進めて来た「ツバメ」「セミ」「秋の野草」「二酸化窒素・酸性雨」の調査の集計結果を河野猪太夫さん(豊中市立教育研究所、豊中生物同好会所属)から報告していただきました。

講評いただいた布谷知夫さん(滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員)は、発表した小・中学生に、自分が調査、観察した結果は正しいと信じることに、そして、今後とも続けていくことに意味があると話されたことが印象的でした。(発表要旨はまとめて3月ごろに報告書として出すことにしています。)

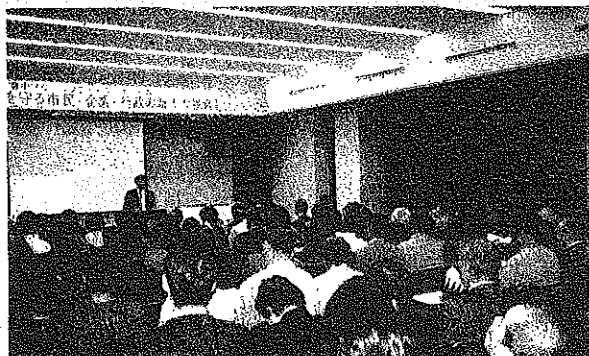


## 豊中アジェンダ21・シンポジウム

### 『地球環境を守る市民・企業・行政の新たな挑戦』

温暖化防止京都会議に合わせ、昨年12月6日（土）午後2時から曾根東町三丁目の市立中央公民館で、地球環境を守るための市民行動計画「豊中アジェンダ21」に向けた取り組みや、市が7000人の市民アンケートをもとに推計した二酸化炭素の排出量予測などが報告されました。

また「地球環境を守る市民・企業・行政の新たな挑戦」のテーマで、市民環境会議のコーディネーターである盛岡通さん（阪大教授）やアジェンダ作業部会のアドバイザー4人によるパネルディスカッションがおこなわれました（以下はパネルディスカッションからの抜粋）。



#### 佐川直史さん（産業部会アドバイザー）

私が企業の方とおつきあいをやりますと、きっちりと目標を持ってやりあげなければいけないのだということがどうしても身につけている。

もう少し柔軟に皆さんとのお話しの中で、企業の中でもISO14000的立場でできることはもっとたくさんある。目の前にそれが転がっている。豊中の企業の方で、市民と企業と大きく分けてしまうのではなく、生活者、いわゆる企業人としてなができるのか、もう少し豊中という土地で、自由な立場でなにか考えられないか、今日はアドバイザーとしてよりも、むしろ、そういうことに気付けていただいたと思っています。

#### 横村久子さん（自然部会アドバイザー）

二つあります。一つは自分で決めなしゃあないということで、いろんな部会で自己決定をそれぞれがするべきやと、自己決定するべき時期に来ていると思います。

もう一つは、五感というものが失われて来ていますので、五感を研ぎ澄ますようなこと

をやって行きたいと思います。今いいましたように、緑を作ったり、川や水辺を作るだけでは生活の中に入って来ないわけです。今、抗菌グッズばかりですね、環境という名のもとにいろいろ製品が出ていますが、何が大切と思って、何を良いと思うのか、今、だんだんと、目にみえず、近寄らず、触れずというようになって来ていますが、目で見て、近寄って、触れて、五感を研ぎ澄ますようなことができればいいなと思います。

#### 新田保次さん（交通部会アドバイザー）

私は三点ほど。まず、行動を起こす、やるのがすべて、歩きながら考えるか、考えながら歩くか。運転の工夫が出来ます・アイドリングストップ、さらに、利用の仕方を工夫して行く、それはノーマイカーというよりも、レスカーで、車の利用をちょっとでも減らす、全く減らすのではなく、何割か減らすということで利用を工夫する。自分がやりつつ回りに広げて行くということが必要かと思っています。

つぎに、その広めるということで、うまい取組みをしたら誉めるという制度が市民的にあっても良いのではないか。年に一回こういうところで披露して誉め合うというのも大切かと思っています。

それから、そういう個人レベルだけではなく、まちにも目を向けていただきたい。どんなまちがいいのか、ということを一歩踏み出してみていただきたい。

#### 弘本由香里さん（生活部会アドバイザー）

盛岡先生の方から豊中らしい環境家計簿を是非というお話しをいただいたんですが、それについては皆さんとともにいろいろ知恵を寄せあつめあっておりまして、他の部会で取組まれているような事柄もその中にエッセンスをとりこんでゆけるようにとか、豊中の他の団体の活動であるとか、つながってゆききかけともなるような要素を含んだものにしてゆこうかなと考えています。

それから、その環境家計簿で得られたデータをできるだけフィードバックするようなこと、まずは、書くためのトレーニングをするようなシステムがいるということ、得られたデータをもう一度フィードバックして、ああ、こんなに自分の活動が生きているのかなと実感できるようなシステムもいるのかなと思います。きっか

け作りの環境家計簿であります。さらにその結果が自分の身に効果として返って来ると、ひろがるのではないかと考えています。それから、マイバッグ運動に関して、有料化できないかということをご提言していただいた奥野さんがなぜ真剣におっしゃったかということ、市民だけがどうもこの話しに無責任であるとなっていることがつらいんだとおっしゃられている。事業者の方は、もし市民が理解があればレジ袋有料化ということをやっても構わないということまで来ているんだということですね。それから行政の方もできるだけゴミは削減したいとおっしゃられます。ところが、市民だけは利便性のためにということがネックになっているところがかかなりありまして、どうにかして責任を負って行くシステムもいるんじゃないかと話されたりしまして、みんなで真剣に受けとめて、豊中らしいシステムを楽しみ広がりのあるものとしてつくってゆけたら、まちづくりとともに進めていけたらと思っています。

### 盛岡通さん（市民環境会議コーディネーター）

4人の方から、それぞれの部会の進め方だけでなく、市民、事業者、行政の連携を図って行くためのポイントをご指摘いただいたと思います。いまご指摘いただいたポイントをこれからの部会の活動に是非生かしていただきたいと思っております。今日の会議そのものは丁度京都で温暖化防止の国際会議が開かれておることに対応して、アジェンダ21豊中版を作り上げ、また、それを実行して行くということの誓いの場だといえますね。いままで全国的にアジェンダ21がたくさん作られておりますが、地方自治体版の作り方をみてみますと、委員の中に市民代表が入って、行政の方とともに、会議の席に付くところを満たしているところはあるのですが、各部会の運営を構成しながらきちっとつってゆくというのはあまりないので全国的にも大変注目されていると私は思います。

### 豊中アジェンダ21策定作業部会のスケジュール

豊中アジェンダ21（地球環境を守るためのとよなか市民行動計画）づくりに向けて、生活部会、交通部会、企業部会、自然部会の4部会を開催していきます。ふるってご参加ください。（日時・場所等は、予告なしに変更することもありますので、事務局まで確認してください。）

#### 5月

● 13日（水）午後2時30分～  
場所：市役所北別館5階会議室  
第1回 産業（エコインダストリー）部会

● 16日（土）午後1時30分～  
場所：市役所北別館5階会議室  
第1回 生活（エコライフ）部会

● 23日（土）午後1時30分～  
場所：未定  
第1回 自然（ピオトープ）部会

#### 6月

● 2日（火）午後2時30分～  
場所：未定  
第1回 交通（エコトラフィック）部会

● 10日（水）午後2時30分～  
場所：未定  
第2回 産業（エコインダストリー）部会

★ 12日（金）市民環境会議総会  
（市民会館大集會室）

● 20日（土）午後1時30分～  
場所：市役所第1庁舎2階会議室  
第2回 生活（エコライフ）部会

● 27日（土）午後1時30分～  
場所：市役所第1庁舎2階会議室  
第2回 自然（ピオトープ）部会

キャンペーン（A1ドリンクストップ、環境家計簿 etc）

### うれいの悲鳴！エコキャラバン隊

「とよなか市民環境会議」の若手メンバーである大学生らによって結成された「エコキャラバン隊」ですが、昨年10月に永楽荘自治会への出前講座をかわきりに、遠くは山形県米沢市の生協など、これまで約20回おこなってきました。

地球環境や身近な環境問題について勉強してみたいグループは、

#### 注文あればどこへでも

豊中のエコキャラバン隊6人



自治会・学校から引っぱりだこに  
講師にアドバイザー

出前します！

▲朝日新聞（1997年12月17日）  
市民環境会議事務局までお問い合わせください（日時や内容等は要相談）。

### 編集室から

私は、昨年12月8日、NGO資格のオブザーバーとして温暖化防止京都会議に参加する機会を得ました。会場内は、海外から来日した多数の政府関係者、報道陣などで活気に満ちあふれていました。

とりわけ印象的だったのは、NGOが会議の動向などをわかりやすくまとめたニュースレターを配付したり、情報収集や情報交換に東奔西走している光景でした。

こうしたなが、ようやくNPO法（特定非営利活動促進法）が成立しました。今後、ますますNPOやNGOの活躍の場が増えることになるでしょう。

ニュースレター編集 佐藤 徹

発行：とよなか市民環境会議  
事務局：豊中市生活環境部環境課内  
編集責任：豊中市生活環境部環境課長  
〒560-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1  
TEL：06(858)2106 FAX：06(842)2802

★とよなか市民環境会議は、市民・企業・行政のパートナーシップ組織です。